



第9回

ピース・コンサート in ヒロシマ

若手音楽家による平和の祈り

祈りから夜明けへ

— 平和と覚醒を描く名曲の響宴 —

その祈りは、やがて夜明けになる。



指揮 井田勝大



ソリスト** 木村紗綾



ソリスト*安塚かのん



ソリスト*中村夏実



管弦楽 ヒロシマ・ピース・オーケストラ

Program

J.シベリウス

交響詩 フィンランディア 作品26

J.S.バッハ

2つのヴァイオリンのための協奏曲 ニ短調*

F.メンデルスゾーン

ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64**

R.シュトラウス

交響詩「ツァラトストラはかく語りき」

2026 7/31 金

開演 18:30 開場 17:45

広島上野学園ホール

(広島市中区白島北町19-1)

チケット

全席自由 (小中高生無料)

一般¥2,000・学生¥1,000

お問い合わせ
チケット購入

チケットぴあ Pコード327-330

一般社団法人SpinArt 070-8413-0250

または右のQRコードから





ヒロシマ・ピース・オーケストラ

「ヒロシマ」という共通点をきっかけに出会った、今を生きる若手音楽家たちによって結成されたオーケストラ。未来に向けて何かを残したいという想いのもと、自分たちにできる「音楽を奏でること」を通して、世界へメッセージを発信することを目的としている。2018年に発足。以来、毎夏「ピース・コンサート」を開催し、広島県内各地での演奏活動を行っている。NHK「れいわのへいわソング」への出演や、中村暢之氏による委嘱作品の世界初演など、幅広く活動を展開している。



指揮：井田勝大

鳥取県生まれ。東京学芸大学音楽科卒業、同大学院修了。2003年から来日オペラ団体の公演に制作助手として携わり、ミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場、バイエルン国立歌劇場、東京のオペラの森などで小澤征爾、ズービン・メータのアシスタントを務める。2004年、江戸開府400年記念東京文化会館事業「あさくさ天使」に副指揮者として参加。2007年11月、Kバレエカンパニー『白鳥の湖』公演でデビュー。以降、Kバレエカンパニーの多くの公演を指揮するほか、国内外のバレエ公演を指揮。2018年4月にはNHK『バレエの饗宴』で指揮を務めている。その他、アマチュアを含め多数のオーケストラや合唱団を指導。トランペットを田宮堅二、田中昭、山城宏樹に、指揮法を山本訓久、高階正光に師事。現在、シアターオーケストラ トウキョウ常任指揮者。信州大学教育学部講師、洗足学園音楽大学非常勤講師。2019年9月、シアターオーケストラ トウキョウ音楽監督、Kバレエカンパニー音楽監督に就任。2025年1月、令和6年度鳥取県文化奨励賞受賞。



コンサートマスター・ソリスト：木村紗綾

広島市出身。15歳で渡欧し、ブラハ音楽院に学ぶ。第50回コッティアン国際ヴァイオリンコンクール、ヴィヴァルディ国際音楽コンクール、第38回チェココンセルヴァトワール・ギムナジウム国際コンクール、第2回ヴィッラフランカ・ディ・ヴェローナ国際コンクールなど国内外のコンクールで優勝多数。チェコフィルハーモニー管弦楽団オーケストラアカデミー修了。2011年度ヒロシマ平和創造基金ヒロシマスカラシップ奨学生。ブラハの春音楽祭などチェコ、イタリアなどヨーロッパ各地の音楽祭に出演。第54回文化庁委託事業 新進演奏家育成プロジェクトオーケストラシリーズにて広島交響楽団と共演する他、チェコに於いてもオーケストラと多数共演。また2016年からは指揮者大植英次氏とも毎年共演を重ねている。現在チェコ国立ビルゼンフィルハーモニー管弦楽団アシスタント・コンサートマスターを歴代最年少で務めるほか、ソロ・アンサンブル・オーケストラなど国内外で幅広く活動を行っている傍ら、(一社)SpinArt代表として、広島市をはじめとする地域の文化振興と次世代育成にもあたっている。



ソリスト：安塚かのん

トリオシステムブランド株式会社トリオグループ認定メセナ活動生。使用楽器はCOCO老番屋創業者、宗次徳二会長より賜る。第77回全日本学生音楽コンクール東京大会入選。第22回万里の長城杯国際音楽コンクール弦楽器の部第1位。第1回グランディール音楽コンクール全国大会最高位。カーネギーホールにて開催されたSpecial Venue Music Awardにて「RisingStar Media Award」受賞。広島県教育委員会より「メイプル賞」、廿日市市より「はつかいちさくら賞」受賞。桐朋成績優秀者Student Concert出演。NHK広島放送局×広島交響楽団〜夢プロジェクト〜ソリスト。「The MOST in JAPAN2021」広島公演ソリスト。2026年4月に、日系アメリカ人市民同盟モンテレー支部(カリフォルニア)、国連教会(ニューヨーク)、ラファイエット大学(ペンシルベニア)など主要5都市で演奏。各国在日大使館での外交演奏・国内外で多数受賞・演奏歴あり。ウィーン国立音楽大学、スイス国立チューリッヒ芸術大学、ドイツ国際マスタークラス、ルーマニアジョルジュエネスク芸術大学マスタークラス課程修了。桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学2年に在学中。これまでにヴァイオリンを村上直子氏、豊田弓乃氏、福田廉之介氏の各師に師事。



ソリスト：中村夏実

4歳よりヴァイオリンを始める。2019年広島大学教育学部第四類音楽文化系コースを卒業、その後、ドイツ、カールスルーエ音楽大学の修士課程を最高得点で修了。弓室内合奏団第2回定期演奏会、コジマ・ムジカ・コレギア第23回定期演奏会、ムジカ・コレギア in 尾道、広島大学でConcerto Concertの各演奏会でソリストとしてオーケストラと共演。第12回ベーテン音楽コンクール第2位。Büttnerピアノ四重奏コンクール第2位。Hiroshima Music Festival、しまなみ音楽祭、Mattheiser Sommer Akademie、Talent Music Summer Courses & Festivalなど国内外様々なマスタークラスを受講。2019年から2021年までヒロシマ平和創造基金、ヒロシマスカラシップ奨学生。2015年から2018年大植英次プロデュース威風堂々クラシック in HIROSHIMAに出演、2022年に同コンサートでコンサートマスターを務める。ヴァイオリンをこれまでに塩崎紀子、瀬川光子、故・小島秀夫、高旗健次、故・ナフム・エアリッヒ各氏に師事。室内楽をハンスヤコブ・シュテムラーに師事。ブランデンブルク交響楽団で実習生、Neue Philharmonie Westfalenの第1ヴァイオリン、第2ヴァイオリンのVorspielerを経て、現在同オーケストラ第2ヴァイオリン奏者として在籍。

クラウドファンディング挑戦中！

広島から、平和を奏でる。

若手音楽家とともに創り上げるピース・コンサート。

この想いを、未来の世代へつないでいきたい。



ピース・コンサートを、これからも。

コロナ禍でも一度も止めることなく続けてきた、広島発のピース・コンサート。若手音楽家とともに、平和への想いを音楽で届け続けてきました。2026年の第9回公演を、より良い形で未来へつなぐために、皆さまのご支援をお願いいたします。

▼ご支援はこちらから



ご支援が力になります

舞台づくり、若手育成、平和を伝える活動の継続に大切にに使わせていただきます。



リターンもご用意しています

コンサート招待券や感謝の気持ちを込めたリターンをご用意しています。



あなたの応援が未来をつくる

音楽の力で、平和の想いを次の世代へ。一緒に未来をつないでいきましょう。

クラウドファンディング期間

2026.5.10(日) ▶ 6.30(火)

詳しくはQRコードから

スマートフォンで読み取れます

広島 ピースコンサート

